	氏名	山岸直子	部署	看護学科	職名	准教授					
	研究分野	慢性看護学 博士(看護学)									
	学位										
	学歴	2007年聖路加看護大学大学院博士前期課程、2018年首都大学東京大学院博士後期課程									
経歴 2008年慶應義塾大学看護医療学部助教、2013年東京医科大学医学部看護学科講師、 2017年埼玉県立大学准教授											
	叩ぼう全(冷嘴)	職) 日本看護科学学会、日本糖尿病看護・教育学会、日本慢性看護学会、日本がん看護学会、日本看護学教育学会 日本リハビリテーション看護学会、保健医療福祉科学学会									

【2019年度実績】

[20)19年度実績】								
1.	研究業績								
(1)著作								
	著作の名称		単·共	ISBN	発行所、全ページ	ジ数	著者、編者名		発行等年月
1	該当なし								
2									
3									
(2)論文									
	論文の名称		単·共	幸読 雑誌名、巻(号)、開始−終了ページ		著者、編者名		発表等年月	
1	該当なし								
2									
3									
(3	学会発表								
	学会発表の演題		単·共 学会		名、開催都市	発表者(発表者は〇			発表等年月
1	Development of a Person-Centered Care Model for Elderly Patients with Type 2 Diabetes Living Alone		共同	The 6th International Nursing Research Conference of World Academy of Nursing Science, Osaka		O <u>Naoko YAMAGISHI</u> , Towako KATSUNO			2020.2.28
2									
3									
(4	4) その他								
	名称		単·共	世 発表場所等 発表者(発表者は〇印)			発表等年月		
-	該当なし								
2									
3	** * * * * * * * * * * * * * * * * * * *								
2.	競争的資金等の研究		ı		- -		W + +	I	
	競争的資金等の名称		研究名		研究代表者・研究分担者の別		研究期間		
1	文部科学省·日本学術振興会科学研究 費補助金(若手研究)		高齢糖尿病患者のセルフケア支援のためのアセスメントツールの 開発		研究代表者		2019.4~2023.3		
2									
3									
	教育業績								
(1	講義								
	講義の名称	科目責任者	コマ数			既要(教育内容・方法等において工夫し			
	成人看護学Ⅳ	2			2年生を対象に、慢性腎臓病、透析療法を受けている患って、具体的な事例を交えて講義を行った。		いまた。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		
_	成人看護学皿	6	2年生を対象に看護過程に関するPBL学習を指導した。						
(2	演習		l _	→ *b					
	演習の名称	科目責任者		マ数	概要(教育内容・方法等において工夫した点) 4年生を対象に、臨床実践能力の向上を目指し、シミュレーション学習をと				学習をとおり
1	臨床実践看護 ————————————————————————————————————	0	15	知識・技術・態度を統合させた実践			た実践的な学習を行った。		
2	成人看護学Ⅳ			2年生を対象に、血糖自己測定、インスリン自己注射、フットケアの 6 い、技術の習得及び患者役の体験をとおし、糖尿病患者への看護 深めた。				リ演省を行 隻の理解を	

	への看護について ら指導した。 ・題達成ができるよう 意味づけを促した。 でを指導し、災害現場 返りを丁寧に行い、 を発揮できるよう促	臨床実習で 湯を模擬的に 互いの役割を						
1 成人看護学実習 II 2019.5~2019.6 3年生を対象に、慢性的な健康問題をもつ人ことができるよう臨床指導者と連携をとりなが ことができるよう臨床指導者と連携をとりなが 4年生を対象に、学生の学習課題に沿って課 の指導及び、ケースレポートで行った看護の: の指導及び、ケースレポートで行った看護の: の指導及び、ケースレポートで行った看護の: の指導及び、ケースレポートで行った看護の: の指導及び、ケースレポートで行った看護の: の指導及び、ケースレポートで行った看護の: の指導及び、ケースレポートで行った看護の: の指導及び、ケースレポートで行った看護の: の指導及び、ケースレポートで行った看護の: の指導及び、ケースレポートで行った看護の: の指導及び、ケースレポートで行った看護の: の指導及び、ケースレポートで行った看護の: の指導及び、ケースレポートで行った看護の: の指導及び、ケースレポートで行った看護の: の指導及び、ケースレポートで行った看護の: 中現し現実感を伴った学びを促した。 4 IPW実習 2019.9~2019.10 4年生を対象に、チーム形成についての振り: 理解・尊重し、自分の専門性をいかした役割: は、計算・副指導の別及 1 卒業論文 期間 主指導・副指導の別及 2 空間9.4~2019.12 主指導 5名 2 主指導(指導教員) 名 副	への看護について ら指導した。 ・題達成ができるよう 意味づけを促した。 でを指導し、災害現場 返りを丁寧に行い、 を発揮できるよう促	臨床実習で 湯を模擬的に 互いの役割を						
2 総合実習 2019.7 4年生を対象に、学生の学習課題に沿って課の指導及び、ケースレポートで行った看護の3項生を対象に、災害看護に関する学内演習再現し現実感を伴った学びを促した。 4 IPW実習 2019.9 3年生を対象に、災害看護に関する学内演習再現し現実感を伴った学びを促した。 4 IPW実習 2019.9~2019.10 4年生を対象に、チーム形成についての振り、理解・尊重し、自分の専門性をいかした役割 (4)論文指導 対象 期間 主指導・副指導の別及 1 卒業論文 2019.4~2019.12 主指導 5名 2 主指導(指導教員) 名 副	題達成ができるよう意味づけを促した。 意味づけを促した。 を指導し、災害現場 返りを丁寧に行い、 を発揮できるよう促	場を模擬的に 互いの役割を						
3 成人看護学実習Ⅲ 2019.9 3年生を対象に、災害看護に関する学内演習 再現し現実感を伴った学びを促した。 4 IPW実習 2019.9~2019.10 4年生を対象に、チーム形成についての振り設理解・尊重し、自分の専門性をいかした役割 (4)論文指導 期間 主指導・副指導の別及 主指導 5名 1 卒業論文 2019.4~2019.12 主指導 5名 2 主指導(指導教員) 名 副	を指導し、災害現場 返りを丁寧に行い、 を発揮できるよう促	互いの役割を						
4 IPW実習 2019.9~2019.10 4年生を対象に、チーム形成についての振り。 理解・尊重し、自分の専門性をいかした役割。 (4)論文指導 対象 期間 主指導・副指導の別及 1 卒業論文 2019.4~2019.12 主指導 5名 2 主指導(指導教員) 名 副	を発揮できるよう促	互いの役割を <i>た</i>						
(4)論文指導 対象 期間 主指導・副指導の別及 1 卒業論文 2019.4~2019.12 主指導 5名 2 主指導(指導教員) 名 副								
対象 期間 主指導・副指導の別及 1 卒業論文 2019.4~2019.12 主指導 5名 2 主指導(指導教員) 名 副	7、「比道人粉	01_0						
2 主指導(指導教員) 名 副	.07日守八双	数						
	副指導							
	指導(指導補助教員							
3	指導(指導補助教員							
(5)その他								
名称 期間 概要(教育内容・方法等にお	概要(教育内容・方法等において工夫した点)							
1 学年担任 2019.4~2020.3 学年担任として学生の学習や生活、就職活動をした。	学年担任として学生の学習や生活、就職活動などの相談への対応及び指導をした。							
	中国の山西医科大学の留学生に対し、学習や生活などの相談及び指導、施							
4. 社会貢献活動								
(1)講演会、研修会、公開講座等の講師								
講演会、研修会、公開講座等の名称主催講演、研修、公開講座等の一	テーマ	開催年月						
クリニカルラダーレベル II 研修 (看護研 東川口病院 看護研究の概要		2019.11						
15世/		2019.4~2020.3						
3								
(2)国、自治体、学術団体等における委員等								
国、自治体、学術団体等の名称 国、自治体、学術団体等の名称 委員等の名称		 任期						
1 日本看護協会 日本看護学会 慢性期看護論文選考委	員 2019.	2019.9~2020.3						
2 埼玉県看護協会 学会委員(学会運営、査読)	2019.	2019.6~2021.12						
(3)ジャーナリズムでの発言								
メディア等の名称 内容								
1 該当なし								
2								
(4) その他								
項目 相手方等 内容		期間						
1 該当なし								
2								
5. 学内運営								
項目 内容		期間						
1 全学的委員会及びセンター業務 ハラスメント等防止対策委員会 相談員	2019.	2019.4~2020.3						
1 ^寸	2019.	2019.4~2020.3						
3 国際交流活動 中国の山西医科大学留学生担当		2019.4~2020.3						
4 大学広報活動 オープンキャンパスでの模擬講義(1回)、本学訪問の高校生への模擬語		2019.8~2019.10						
5 学長指定プロジェクトへの関与 研究開発センターA2研究プロジェクトメンバー	2019.	2019.4~2020.3						
6. 受賞(研究、教育、社会貢献活動に関するもの)	<u> </u>							
受賞名	主催	受賞年月						
1 該当なし								
7. 特許の取得								
特許名	許番号	登録年月						
1 該当なし								
特記事項								
8. 特記争項 該当なし								